

週刊 **タバコの正体**

タバコ代

タバコをやめられたら、何につかいますか？

喫煙者はタバコ代にいくら使っているのでしょうか。1箱500円だとして単純に計算すると下図のようになります。1日0.5箱でも年間9万円以上、1日1箱では18万円以上もかかります。



1日に何箱吸っているかによって、やめられたらこれだけ節約できます。

1日 0.5箱 = 1年で **¥91,250-**

1日 1箱 = 1年で **¥182,500-**

1日 2箱 = 1年で **¥365,000-**

サンキュウドラッグ HP から

1箱500円、1年365日の場合

話は変わりますが、厚生労働省が発表した「平成30年賃金構造基本統計調査（初任給）の概況」によると高卒者の初任給は16万円と記されています。

なんと、毎日1箱のタバコを1年分買うためには1ヶ月以上働かないといけないわけです。1ヶ月間働いた収入がタバコ代のためだけに消えていくなんで、どう思いますか。すぐもったないですよ。もっと違うことに使えるはずですよ。

しかも、一旦ニコチン依存症になってしまうと、タバコを買うのは1年間だけですみません。10年、20年、30年吸い続ける喫煙者は珍しくないの、相当な金額を費やして自分の健康を損ない続けることになるのです。その金額は下図にあるように、タバコを吸い始めなければ、10年で160万円以上、30年で500万円近く節約できるのです。

いかかでしょうか。たかが1箱500円のタバコですが、毎日吸い続けるとこんなに高額になる事を知ってしまえば、「タバコなんかやめよう」と思いますよね。

産業デザイン科
奥田 恭久

1日1箱450円として計算した場合

**160万円以上
の節約!**

**500万円近く
の節約!**

**164,250円
の節約!**



1年間



10年間



30年間

Zero Tobacco Project
In WAKO Since 2005